

保育雜感

母の保母

附屬幼稚園 安村ふさ

(一)

「こどもを持つつゝこどもの見方が變りますよ」。こ受持の子の母親にいはれ、さうかしら、さうなつてもやつぱりこども達は可愛いと思ふだらうし、よい子にしたいと思ふのに違ひはなからうに、等々考へてゐましたが、今我が子を持つてみて成程こ思ひ當る事があります。自分の手に託せられたこども達はどの子も皆可愛く、よかれこ願ふ氣持は今だつて少しの變りもないのですが、以前には其の氣持の強い餘りに、些細な中でも屢々母親を煩はす事がありました。今母となり、以前には思ひも及ばなかつた育児の忙しさにあたふたこ過してゐますが、其の中で最初に強く感じたのは、こどもを育てるさいふ事は大事業だ、さいふ事でした。と同時に、お母さん方にあの様な事であんなにまでいはねばよかつたこ沁々後悔され、あの事、この事が一々慚愧の氣持の中に思ひ出されました。こどもを健康に育て幼稚園に出す迄にはそんなに多くの母親の思ひがあつた

事でせうに。こどもはかくも切ないものかさは、事實我が子なくして味はれぬ思ひでありました。以前は弟妹に對すると同じ親しい感じを抱き、其の氣持で保育してゐるつもりではありましたが、斌さか、知識さかゝ氣になり、きほひの方が勝つてゐました。私が今は、それらより前に、我が子の如く先づかなしいものに思はれ、凡ての保育はそこから出發し、そこに歸つて來るのです。こどもを持つつゝこどもの見方が變るさいふ言葉も今にして沁々うべなはれる言葉であります。

(二)

「母になつてよくなる先生さ。駄目になる先生さあります。あの先生は益々よくなつた方ですよ」。さある小學校の體操のお授業を參觀した時、その校長先生がしみじみとした調子でおつしやいました。其の日は二月も末で、冬も幾らかゆるみ、南東の風が軟く頬を撫で、大變晴朗な日でした。私共は校庭を見下せる小高い築山から見學してゐた

のですが、其の先生の元氣な號令、こども達の張り切つた動作等が快よく目に入り、校長先生のさびたお聲が冴えた頭にこどもさ落ちついたものでした。あれからもう四年の餘りになりますが、さうした事も忘れて過してゐる中に、私も仕事を持つ母になりました。組の子の母親に、「置いていらつしてはさぞ御心配でせう」。こいはれて、「いゝえ、母がみてゐてくれますから」。さ判然答へられる私ではありまされ、果して其が本心かしら、ふと思ふ事があるのです。我が子が健康の時は實際思ひ出す事もなく、又暇もないのですが、一寸、朝、様子がをかしかつたと思ふ時等、保育してゐても心のさこかゞ重くないと言ひ切れるかしら。さ何だか後めたくなりません。そんな時に、あの日の印象深かつた光景、校長先生のお言葉が頻りに思ひ出されるのです。そして慚愧に堪へない事も度々あるのですが、それにつけても、働く母の爲にこどもを預かる設備があればよいと思ふのです。工場等では大抵さういふ設備がある様ですが、學校等の場合は數も少く特殊の故か餘りない様に思ひます。日本の幼稚園では、いろ／＼な關係もありませうが、保母は一體に若い未婚の人が多く、異動が激しいので、さうした設備を要望する人は少いのでせう。併し、さうした設備がこゝかしこにあつたなら、保育は母性的なものですから、つゞき多くの人が保育界にじつくり身を据えてかゝれ

るのではないでせうか。責任の醫師もゐて、いろ／＼育児の指導をしてくれ、日中、責任を以つて預かつてくれたら、さんなにいろ／＼でせうか。さうなればよい先生になれるさいふものでもありませんが、少くとも随分安心して活動出来る様に思ふのです。私の知つてゐる或る先生は「女中に預けて來るのですが、歸つて元氣な顔をみるまでさても氣になります」。さ申して居られましたが實際、責任のない者に託する程心配な事はないと思ひます。此の時代にこそさういふ設備がありがたいものだと思ふのは勝手な願ひでありませうか。

東京市保育挺身懇談會

東京市保育會會員一同は二月六日正午神田神社に參集、藤谷幹事長の誓文朗讀に團長代表日本橋東華幼稚園長 土古宇田喜平次氏、保母代表濱町幼稚園主任水野世志代等の玉串奉奠に聖戰の完遂を祈願いたしました。續いて明神下にある會場神田區芳林幼稚園に於てお互に胸襟を開いての懇談に、本市保育の振興を計り、御奉公の誠を誓ふべく保育挺身懇談會を開催いたしました。本會會長東京市教育局長始め關係者一同、團長及保母二五〇名出席嚴肅な中にも和やかな意見の交換に、戰時下保育の如何にあるべきかを話し合ひ、更に海軍大佐大宅由歌氏の國際戰局と帝國海軍と題しての舌端火を吐く御講演に接し、時局の急に對する保育の重大性に一層その覺悟を深くしたのであります。